

# 車両用空気ばね／ダンパ試験装置

走り装置研究室

- ◆ 6自由度に加振することで、様々な条件下での力・モーメントを測定できます。
- ◆ 取付冶具の交換などによって、さまざまな空気ばね・ダンパに対応します。

**概要** 車両が走行する際の空気ばねやダンパの動きを6自由度で模擬し、このときの発生力を測定することができる試験装置です。

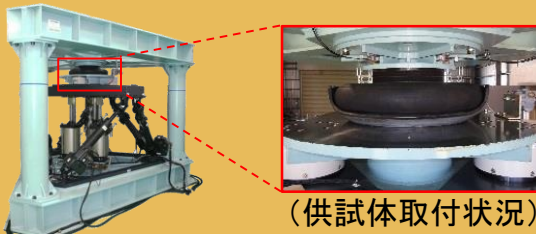


図1 空気ばね試験装置

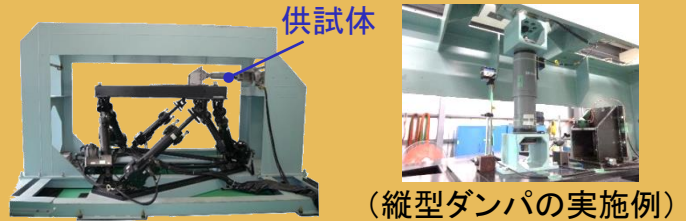


図2 ダンパ試験装置

# 高温摩擦試験装置

ブレーキ制御研究室

- ◆ ブレーキ摩擦材を任意の温度(室温～1100℃)に加熱できます。
- ◆ 実物大ブレーキ試験に比べて簡易に高温時の摩擦係数を評価できます。

**概要** ブレーキ摩擦材の開発段階において実物大ブレーキ試験前の摩擦材選択の基礎試験として適用できます。

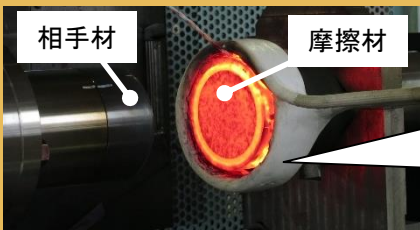


図1 加熱時の摩擦材の様子(1100℃)

試験装置の主な諸元  
 ・押付力 0.6kN～5kN  
 ・回転数 30～1750rpm  
 ・トルク 0～100kN  
 ・加熱温度 室温～1100℃

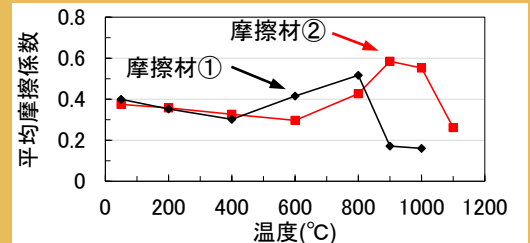


図2 高温摩擦試験結果の例

# 振動試験装置

走り装置研究室

- ◆ JIS E4031他各種規格に対応した振動試験、衝撃試験を実施できます。
- ◆ 任意の時系列波形に基づく加振試験も実施できます。

**概要** 車両用品をはじめとする供試体の振動試験、衝撃試験を実施するための試験装置です。垂直方向または水平方向に加振できます。

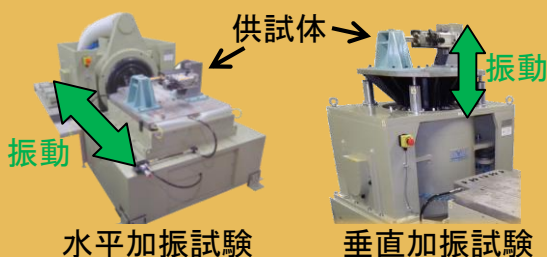


図1 供試体の取付状況

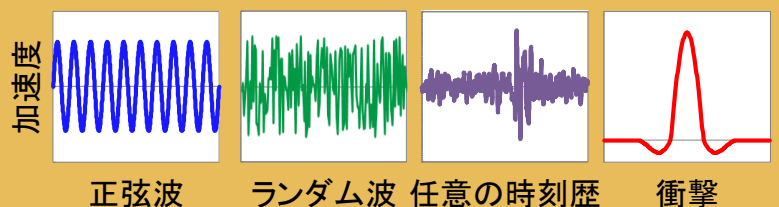


図2 振動・衝撃波形の例